

株式会社日本通訳翻訳センター



中小企業の皆さまへ

官公庁と取引する上でのアドバイス

- 1 高い品質を確保するためには、社内に経験・資産を蓄積すること、発注担当者とコミュニケーションをよく取ることが大事です。
- 2 担当者に名前を覚えてもらうことが、受注機会獲得のきっかけにつながります。入札公告をよく確認し、入札に積極的に参加するようにしています。

ここから調達に掲載している企業情報



株式会社日本通訳翻訳センター

所在地：〒110-0016
東京都台東区台東 4-23-11
創業・設立年月日：2008/06/20
資本金：600万円
代表取締役：綱島 延明
従業員数：1人

【営業エリア】 日本全国
【事業内容】 翻訳/通訳/国際会議運営/
国際市場におけるマーケティング調査
【対応言語】 英語、中国語、韓国語、タイ語、
ベトナム語など計43言語

社内に経験・資産を蓄積することが高い品質を維持する

日本には、通訳、翻訳どちらかに特化した会社は多数あります。しかし、日本に来る外国人の立場に立ったとき、通訳と翻訳が一体となった会社を実現することがより親切なのではないかと思ひ、2008年に当社を立ち上げました。当社は、英語・中国語・韓国語から日本では馴染みが薄い言語まで、現在までトータル43の言語実績があり、人材確保のネットワークには自信があります。官公庁との取引においては、複数社の相見積りの中から最安の価格を提示の上、少額の随意契約で業務を請負うことになりましたが、もちろん安いからといって品質を落とすということは一切ありません。品質を確保するため、候補者には試験を受けていただき一定水準のレベルを達した人材をアサインするようにしています。受注後も、これまでの業務で培ってきた経験・資産を社内に蓄積し後々の業務に活かすことで、（官公庁特有の）業界、技術ならではの言い回しや用語についても対応できるようにしています。



代表取締役 綱島 延明 氏

業務を請負う際に大事にしていることは、発注担当者とコミュニケーションを良く取ることです。まずは、トライアルで翻訳文章を作成し発注担当者に確認・フィードバックをもらうことで、内容が合格水準に達しているかを見極めることができ、より質の高い文章を作り上げることができます。

官公庁担当者に名前を覚えてもらうための心がけが、受注機会獲得のきっかけにつながる

官公庁からの受注機会を得るには、まず官公庁の担当者に名前を覚えてもらうことが重要だと思います。私自身、官公庁に掲載されている入札公告を見て、積極的に入札参加するようにしています。それにより、担当者と接する機会が増え、直接声をかけていただく機会も生まれます。また、官公庁は、人事異動が頻繁に起こりますので年度や期が変わる頃に訪問し、次の担当者にも名前を覚えてもらえるよう心がけています。しかし、そのような営業活動だけでなくしっかりと実績を残し、発注者の信頼を得ることが大切です。

主な取引実績

独立行政法人中小企業基盤整備機構 農林水産省 外務省 法務省 目黒区

(官公庁機関のみ)

自社の強み



同時通訳の様子

実績は43言語。150人規模の海外同時通訳も対応可能

通訳・翻訳の業務は、ともに対象の言語を扱う人材の確保から始まります。当社では、海外を含む大使館などの独自ネットワークを活かし、登録スタッフを採用し、これまで43の言語で通訳・翻訳の実績をもっています。品質確保のため、スタッフ募集にあたっては“全言語”必ず試験を受けてもらい一定の水準に達しているかを確認しています。最近では、これまでのネットワークを活用して海外市場調査の仕事も担っております。その他、海外同時通訳会議の運営も行っており、通訳スタッフの派遣の他、通訳ブースの設営、持ち込みによるレシーバーやスピーカーなどの設置を行い、150人規模の会議運営もご提供可能です。

受注事例

中小企業の販路開拓を支援するための通訳・翻訳業務

発注者 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

中小企業基盤整備機構では、中小企業支援に向けた様々なメニューやイベントが行われています。当社では、中小企業総合展（新価値創造展）、ビジネスマッチングサイト（J-GoodTech）、海外展開支援、GiftShow、Foodexといった販路開拓に係る様々な分野で通訳・翻訳業務を担ってきました。当社は、品質もさることながら納期も大切にしています。官公庁担当者からは、「一週間後に5名程度通訳が必要となるのでなんとか手配できないか」という急な相談が来ることもあります。そのような依頼に対しても当社のネットワークをフルに活用し、発注者の要望に応じた人材を迅速に揃えることができます。



中小企業総合展（新価値創造展）の様子

世界150人、精神障がい関係者による4ヶ国語ディスカッションの同時通訳

発注者 日本クラブハウス連合

クラブハウスとは、アメリカで始まった国際的な精神障がいリハビリテーションモデルです。2014年8月、アジアを中心に世界各地からクラブハウス関係者が集まり、150名規模のカンファレンスが日本で開催されました。当社は、英語・中国・韓国語・日本語の計4ヶ国語の同時通訳のほか、通訳ブースやイヤホン等の機材設営も行いました。この交流会では、「リレー通訳」という手法が用いられ、一度英語に通訳してから目的の言語に通訳するという、非常に難易度の高い通訳でしたが、フォーラムは大盛況に幕を閉じました。



クラブハウス・カンファレンスの様子



独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ここから調達

検索

法人番号 2010405004147
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル